

CRN (中部異業種間リサイクルネットワーク協議会)
第十八回定時総会

開催日時 2019年5月16日(木曜日) 午後2時00分より

開催場所 ナディアパーク・国際デザインセンタービル
名古屋市市民活動推進センター 6階 集会室

名古屋市中区栄三丁目18番1号
052-228-8039

CRN (中部異業種間リサイクルネットワーク協議会)

総 会 次 第

14:00～14:50

1・開会

2・会長挨拶 総会開催挨拶-CRNのこれからの在り方について-

3・議案 議長選出

【第一号議案】 2018年度事業報告

【第二号議案】 2018年度収支決算（案）承認について
監査報告

【第三号議案】 2019年度事業計画（案）承認について

【第四号議案】 2019年度収支予算（案）承認について

【第五号議案】 役員改選（事務局長交代の件）

4・その他

5・閉会

記 念 講 演

15:00～16:40

・ 講師

藤井 敏夫 様

(公財)名古屋産業科学研究所アドバイザー

・ 演題

「環境に関わる行政・ビジネスの過去・現在・未来」

—総会添付資料 CRNのこれからの在り方について を受けて—

以 上

総会開催挨拶

2019年5月16日 会長 野々康明

本日は、CRN(中部異業種間リサイクルネットワーク協議会) 第十八回定時総会にご出席いただき誠にありがとうございます。議案審議、よろしくお願いいたします。

さて、CRNは食品リサイクル法施行(2001年)を前に、食品メーカー、流通企業、中間処理業者、農畜産家、消費者組織(生協)等で1998年に発足し、2018年20周年を迎えました。食品リサイクルに関する到達状況は、食品廃棄物発生量1,916万トン、リサイクル率85%(製造業95%、卸売業58%、小売業45%、外食24%)という状況(2012年)で、その後も含めほぼ「基本的な発生抑制や再生利用は達成した」という状況かと思えます。今後は、達成率の低い一般廃棄物も含め、バイオガス発電等の新しい技術開発も進み、本格的な循環型社会が形成されていくことを期待いたします。

CRNはこの20年、特にこの数年は、ほぼ毎月の例会と先進的な企業視察等を企画し、多くの参加者を得てきました。とりあげたテーマも「廃棄物」「リサイクル」に限らず、幅広いテーマで様々な方々のお話を聞くことができました。

CRN発足から今日までの20年(1998年~2018年)は「大量生産」「大量消費」「大量廃棄」の20世紀から、「環境の世紀」「循環型社会形成」の21世紀への大きな革新と方向転換の20年であった、と言えます。

そして今、「方向転換後の加速時期」に入ってきている、と言えるのではないのでしょうか。

世界的な動きも活発になってきています。

2015年9月の国連サミットで「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。

「持続可能な社会をつくるための17の目標と169のターゲット、を2030年までに達成する」内容は極めて総合的で、あらゆる人々、企業、団体、行政等が参画できる内容でもあります。「もはや、のびききならない地球環境の危機」をみんなで共有することの重要性と同時に、新しいビジネスチャンス(試算約3,700兆円)としても極めて多様な内容となっています。

世界の投資家が、ESG(環境、社会、統治)を投資、融資、保険等の判断基準とするのは、歴史上はじめてといわれています。SDGsは意義ある壮大な挑戦と言えます。低炭素から脱炭素社会へ。貧困、飢餓、教育、ジェンダー。生態系、森林、水、海洋、気候変動、エネルギー。⇒世界は劇的に、加速度的に、変わろうとしています。

当CRNも、こうした社会情勢の流れを認識し、「リサイクル」から「SDGs」へ発展させていくのはどうか、と思うところです。

研究会の企画やテーマ設定はもとより、会の運営や規約の見直しなどを、みんなで議論し、未来への新しい方向として定めていきたいと思えます。

皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

以上

【第一号議案】

2018 年度 (平成30年)

NO	日時	講演者	内容	参加者	懇親会
1	4月19日(木)	豊橋市上下水道局: 中島処理場・バイオガス発電見学	現地見学会&講演	30	24
		熱田 洋一 様 豊橋技術科学大学	小規模普及型バイオガス発電システムの開発と今後の展開		
2	5月24日(木)	総会		44	34
		木村 徹 様 有限会社 木村デザイン研究所	"トヨタ車両デザインの系譜とこれから ～4R～Reduce、Reuse、Recycle、Remakeを提唱したい～"		
3	6月28日(木)	山根 恒夫 様 元中部大学	粗バイオディーゼル燃料の精製技術	43	31
		川島 英雄 様 レッツ株式会社 代表取締役	丸太燃料が世界を変える		
4	7月19日(木)	黒田 健 様 河田フェザー株式会社 執行役員	次世代の永久使用は、危機的な状況!	31	25
		杉崎 学 様 株式会社ほうろく屋 代表取締役	なたね油を通して、今の若者たちへ生き方を伝えたい		
5	8月23日(木)	江藤 啓介 様 フレスコ株式会社 代表取締役	小規模適応型の産廃物・排水汚泥・廃油の削減の新技術	42	17
		松井 淳 様 ユニー株式会社 業務本部 CSR部	【愛知環境賞「パートナーシップで繋ぐ地域循環の環」 食品リサイクルループは命をつなぐ環		
6	9月27日(木)	長谷川 武夫 様 (公財)ルイ・バストゥール医学研究センター ハイパーサーミア医科学研究室	放射線と生体影響	33	27
		吉田 富治 様 公益財団法人 国際研修交流会 G空間産業推進室 室長	G空間社会の実現に向けて		
7	10月25日(木)	中根 正道 様 中ネ正道社会学士事務所	【あいち環境塾 参加報告会】 地方自治体の環境政策の研鑽から情報社会学を確認	36	23
		板谷 義紀 様 岐阜大学 機械工学科 教授 地方創生エネルギーシステム研究センター長	地方から発信するエネルギーシステム? 「つくる」「ためる」「つかう」「はこぶ」技術?		
8	11月22日(木)	千葉 賢 様 四日市大学環境情報学部	伊勢湾の海洋ゴミと長期的水質変化	39	27
		愛知県水産試験場(本場) 蒲原 聡 様 魚場環境研究部長	三河湾の漁業と環境		
9	12月20日(木)	吉田 信夫 様 元日本気象協会	2018年夏の猛暑の評価と地球温暖化	32	27
		佐野 充 様 中部大学 工学部現代教育学部 現代教育学科	幸せになる仕組みを持った組織とは		
10	1月24日(木)	赤崎 真紀子 様 (株)カーネルコンセプト 執行役員コンテンツ企画室長	愛知ブランド企業の底デカラ 『ものづくり日本一!愛知県』 ～ 中小企業のパワーと産業観光&インバウンド ～	40	40
		新春交流会	交流会場 ナディアパーク レストラン 宇そら		
11	2月21日(木)	会員によるとことんトーク 話題提供者 (株)西山商店 西山幸光 様	廃プラに関する処理流通について	35	27
		室谷 悠子 様 日本熊森協会	生命あふれる水源の森の再生をめざして ～クマが教えてくれた森の危機～		
12	3月20日(水) ※3/21祭日	清水 信年 様 株式会社 愛知商會	日本の食の危機への対応 農業学校開校を目指す 袋製造会社の挑戦	26	17
		柴田 正人 様 株式会社 食品機械開発	大増産時代(s30～50)の清酒製造設備		
30年度(2018年度) 合計				432	319
29年度 合計				486	324
28年度 合計				519	339
27年度 合計				619	412

【第二号議案】

2018年度収支決算

自2018年4月1日 至2019年3月31日

収入の部

科目	2018年度予算額	2018年度実績額	予算対実績比較 減(△)
1. 会費収入	1,230,000	1,088,000	△ 142,000
2. 研究会参加費	200,000	189,260	△ 10,740
3・その他※	0	40,000	40,000
収入合計(1+2+3)	1,430,000	1,317,260	△ 112,740
前年度繰越金	795,791	795,791	0
合計	2,225,791	2,113,051	△ 112,740

※次年度分会費先入、講師代寄付

法人28 個人29

支出の部

科目	2018年度予算案額	2018年度実績額	予算対実績比較 減(△)
1. 教育情報事業費	920,000	682,321	△ 237,679
(1)研究会費 会場代	100,000	42,100	△ 57,900
講師代	270,000	230,000	△ 40,000
(2)交流懇親会費	430,000	337,170	△ 92,830
(3)研究視察会費	50,000	3,780	△ 46,220
(4)懇親会費(講師分)	70,000	65,840	△ 4,160
(5)資料プリント代	0	3,431	3,431
2. 一般管理費	742,000	779,221	37,221
(1)事業依託費	600,000	600,000	0
(2)事務用品費	15,000	9,277	△ 5,723
(3)通信費	18,000	17,640	△ 360
(4)幹事会費	80,000	127,011	47,011
(5)雑費	19,000	15,293	△ 3,707
(6)他協議会会費	10,000	10,000	0
(7)福利厚生費	0	0	0
支出合計(1+2)	1,662,000	1,461,542	△ 200,458
次期繰越金	563,791	651,509	87,718
合計	2,225,791	2,113,051	△ 112,740

監査報告書

平成30年4月1日より平成31年3月31日に至る期間におけるCRN（中部異業種間リサイクルネットワーク協議会）の収支決算書を監査し、また各月の研究会および見学会に参加し事業の遂行状況の監査も行いました。その結果、規約に適合していることを報告します。

平成31年 4月 25日

CRN（中部異業種間リサイクルネットワーク協議会）
会長 野々 康明 様

監事

小野 仁 

2019年度事業計画

2019年度のCRN（中部異業種間リサイクルネットワーク協議会）は前年度の事業成果を踏まえ、更なる会員の要望・意見を基に、下記の活動を通してリサイクル事業化への道を探る。

特に先端技術及び環境・エネルギー関連の勉強会のレベルアップを計る一方、会員相互の技術、営業面での連携を推進する。

— 記 —

- ① 先端技術・先進事例の研究会、 学識専門家の講演を毎月実施
- ② 先進事例視察の企画
4月実施済 日本製鉄株式会社 見学会
『コークス炉化学原料化法 プラスチックリサイクル工場施設』
- ③ 参加者の情報交換、交流企画
5月 総会 1月 新年会
- ④ 再生可能(&代替エネ)エネルギーに関するテーマ
バイオガス、水素エネルギー利用、プラスチックリサイクル その他
- ⑤ 環境賞受賞者の講演
* 7～9月(計画中)
- ⑥ 会員研究発表(会員企業の事業内容報告)
日頃の業務成果及び研究発表など自己PR
* 随時計画
- ⑦ 中央各省庁・各県等の施策、補助金事業等の説明会
- ⑧ 各種研究機関・協会・基金・財団等の助成制度情報提供、説明会

【第四号議案】

2019年度収支予算案

自2019年4月1日 至2020年3月31日

収入の部

科目	2018年度実績額	2019年度予算案	2018年実績対 2019年予算案
1. 会費収入	1,088,000	1,185,000	97,000
2. 研究会参加費	189,260	200,000	10,740
3. その他	40,000	0	△ 40,000
収入合計(1+2+3)	1,317,260	1,385,000	67,740
前年度繰越金	795,791	651,509	△ 144,282
合計	2,113,051	2,036,509	△ 76,542

* 【会費対象】2018年度：法人28 個人29、 2019年度：法人26 個人27

* 法人会員 26社×30,000=780,000円 個人会員 27名×15,000=405,000円 計1,185,000円

支出の部

科目	2018年度実績額	2019年度予算案	2018年実績対 2019年予算案
1. 教育情報事業費	682,321	770,000	87,679
(1)研究会費 会場代	42,100	50,000	7,900
講師代	230,000	270,000	40,000
(2)交流懇親会費	337,170	350,000	12,830
(3)研究視察会費	3,780	30,000	26,220
(4)懇親会費(講師分)	65,840	70,000	4,160
(5)資料プリント代	3,431	0	△ 3,431
2. 一般管理費	779,221	742,000	△ 37,221
(1)事業依託費	600,000	600,000	0
(2)事務用品費	9,277	15,000	5,723
(3)通信費	17,640	18,000	360
(4)幹事会費	127,011	80,000	△ 47,011
(5)雑費	15,293	19,000	3,707
(6)他協議会会費	10,000	10,000	0
(7)福利厚生費	0	0	0
支出合計(1+2)	1,461,542	1,512,000	50,458
次期繰越金	651,509	524,509	△ 127,000
合計	2,113,051	2,036,509	△ 76,542

2019年度役員

相談役	鈴木 鉄雄	一般社団法人 循環資源再生利用ネットワーク	副理事長
相談役	江崎 忠男	元松下電工株式会社	
会長	野々 康明	一般社団法人 循環資源再生利用ネットワーク	顧問
事務局長	中根 正道	元三井住友海上火災保険株式会社 代理店	
幹事	鈴木 昌二	株式会社 アクテック	代表取締役
〃	西山 幸光	株式会社 西山商店	代表取締役社長
〃	前島 福夫	株式会社 エフ・シー	専務取締役
〃	藤本 和也	株式会社 ワールド・クリーン	取締役事業部長
〃	伊藤 和哉	株式会社 昭和	総務部 課長
〃	小島 将輝	株式会社 小栴屋	取締役
監事	安富 敏正	三友機器 株式会社	中部営業本部本部長
〃	小野 仁	誠美社工業 株式会社	代表取締役社長

2019年度 会員名簿

法人会員 (法人名 五十音順)

2019/4/1

NO	会社名	役職	責任者	業務内容
1	株式会社 アクテック	代表取締役	鈴木 昌二	資源再生・環境商品の販売、施工
※2	株式会社 愛知商会	代表取締役	清水 信年	袋製造販売
3	株式会社 EM生活	代表取締役社長	比嘉 新	E M資材の販売・E M技術の普及
4	河村商事 株式会社	取締役管理部長	河合 正仁	古紙卸売業
5	河田フェザー 株式会社	執行役員	黒田 健	羽毛素材メーカー
※6	特定非営利活動法人 グリーンアース	監事	松本 国昭	広報・受容者と選択肢の多様性を研鑽
7	株式会社 小柵屋	取締役	小島 将輝	廃棄物処理・食品リサイクル
8	生活協同組合 コープあいち	商品活動推進部 部長	磯村 典弘	食品流通業
9	有限会社 三功	営業部長	真柄 隆司	廃棄物処理・食品リサイクル
10	三友機器 株式会社	環境部・技術営業部 次長	安富 敏正	食品製造機械・環境関連機器製造
11	三和清掃 株式会社	代表取締役社長	宮川 賢生	廃棄物処理業
12	一般財団法人 循環資源再生利用ネットワーク	顧問	野々 康明	資源循環ネットワーク
13	株式会社 昭和	代表取締役社長	青山 和暁	食品卸売業
14	有限会社 進栄サービス	代表取締役社長	伊藤 進	廃棄物収集運搬処理・資源再生
15	株式会社 シントー	執行役ESCO事業部長	原田 喜平	新工社*・環境・電気・設備・エンジニアリング

16	株式会社 スリーC	代表取締役	近藤 鉄次	警備業・清掃業・人材派遣業・小売業・飲食業
17	誠美社工業 株式会社	代表取締役社長	小野 仁	廃棄物処理
18	太平産業 株式会社	取締役	山田 哲也	廃棄物処理（中間処理）
19	名古屋コンテナ 株式会社	専務取締役	古賀 正明	廃棄物処理
20	株式会社 西山商店	代表取締役社長	西山 幸光	一般廃棄物及び産業廃棄物処理業
21	ノザキ 株式会社	統括本部長	林下 耕一郎	浄化槽清掃・点検・水質分析
22	株式会社 星野産商	代表取締役	星野 熊夫	廃棄物処理
23	株式会社 明輝クリーナー	代表取締役社長	小島 孝信	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬及び処分
24	リファインホールディングス 株式会社	代表取締役	川瀬 泰人	溶剤のリサイクル及び溶剤リサイクル施設の設計施工
※25	株式会社 レミアノ	代表取締役	山口 美智子	日用雑貨、化粧品、清涼飲料水 販売
26	株式会社 ワールド・クリーン	代表取締役	長尾 秀義	産業廃棄物処理及び食品リサイクル

※ 新会員

個人会員 (個人名 五十音順)

NO	会社名	役職	会員名	業務内容
1	浅田電気保安管理事務所		浅田 益章	電気保安管理事務所・環境団体役員
2	株式会社 オークス	代表取締役社長	秋田 次啓	廃棄物処理装置の開発、設計、製造、販売
3	NPO 東海生研		氏家 隆	
4	元松下電工		江崎 忠男	
5	元亀甲通運 株式会社		遠藤 卓良	古紙運搬

6	ニライ環境研究所	所長	大竹 良知	環境コンサルタント
7	元東海銀行株式会社		大池 敏夫	
8	RECONET	代表	小川 輝夫	エコガラスコート・太陽光発電・機密情報の処理
9	有限会社 王隠堂農園	代表取締役社長	王隠堂 誠海	農業
10	元東邦ガスエンジニアリング 株式会社		川崎 修	
11	元ブラザーロジテック株式会社	顧問	佐上 一司	物流コンサルタント
12	株式会社 食品機械開発	代表取締役社長	柴田 正人	無臭・省エネ型廃棄物乾燥機製造
13	しげん再生ネットワーク	副理事長	鈴木 鉄雄	
14	有限会社 スミタ商事	取締役社長	鷲見 紀年	環境商品製造
15	株式会社 アグリライン	代表取締役	曾我 喜美子	
16	株式会社 エステム	技師長	田中 憲二	上下水道施設の設計施工・維持管理業務
17	アトリビュート・キュー/Attribute Quest		徳田 一雄	人材定着コンサルティング
※18	株式会社 中西	専務取締役	中西 隆	産業廃棄物
19	中ネ正道社会学士事務所	管理監督	中根 正道	保養所管理人
20	元富士通株式会社		長屋 雅雄	

21	古谷未来開発研究所	代表	古谷 尚之	新技術開発&人材育成・環境コンサルタント
22	株式会社 エフ・シー	専務取締役	前島 福夫	乾燥野菜製造
23	東海地域生物系先端技術研究会	コーディネーター	松井 正春	環境コンサルタント
24	電力自由化支援機構株式会社	代表取締役	溝口 昭八郎	電力自由化
25	中部公営事業 株式会社	顧問	村上 碩郎	水処理設備運転管理・設備機器類販売修理
26	名古屋スターダスト倶楽部	代表	山本 典子	農ビジネス（農事業）
27	アルテックインストゥルメント		吉田 正夫	

※ 新会員

オブザーバー 順不同

NO	所属名	役職	氏名	業務内容
1	環境省中部地方環境事務所	課長	水原 健介	官公庁
2	東海農政局 経営・事業支援部・食品企業課	課長	世古 輝	官公庁
3	愛知県環境局資源循環推進課 循環グループ	課長補佐	中原 俊文	官公庁
4	名古屋市環境局ごみ減量部	資源化推進室長	平野 恵嗣	官公庁
5	財団法人 名古屋産業科学研究所	副部長	藤澤 寿郎	学識経験者
6	名古屋大学	名誉教授	森 滋勝	学識経験者
7	元岐阜大学		安井 秀夫	学識経験者
8	NPO 東海生研	コーディネーター	佐藤 之彦	学識経験者

法人会員26社 個人会員27人 アドバイザー8人

CRN(中部異業種間リサイクルネットワーク協議会) 規約

(名称)

第1条 この会は、CRN(中部異業種間リサイクルネットワーク協議会) という。

(事務局)

第2条 この会は、事務局を中部地区に置く。

(目的)

第3条 この会は、地域の循環型社会構造の構築に寄与することを目的とする。

(活動)

第4条 この会は、前条の目的を達成するため次の活動を行う。

(1) 循環型社会構築に必要なリサイクル事業について個別テーマ等による研究会を設置。

(2) 関連企業が参加して地域に最適なりサイクル事業のあるべき姿を

下記の活動等を通じて検討する。

①先端技術・先進事例の勉強会

②先進事例視察の企画

③参加企業の情報交換、交流企画

④中央各省庁・各県等の施策、補助金事業等の説明会

⑤各種研究機関・協会・基金・財団等の助成制度情報提供、説明会

⑥学識専門家の講演会、テーマ別セミナーの開催

⑦ホームページ等、電子メディアによる報告・案内・情報提供

(3) 前項の検討成果は、会員による具体的事業化の支援を通じて国の内外に発信し社会に貢献する。

(会員)

第5条 この会の会員は、次の2種とする。

(1) 法人会員 この会の目的ならび活動に賛同して入会した法人

(2) 個人会員 この会の目的ならび活動に賛同して入会した個人

(会費)

第6条 正会員は、次の年会費を納入しなければならない。

ただし途中加入は月割とする。

(1) 法人会員：30,000円

(2) 個人会員：15,000円

(加入)

第7条 この会に加入を希望する人は、この会の承諾を得て加入をする事が出来る。

2 この会は加入の申し込みがあったときは、幹事会においてその諾否を決する。

(自由脱退)

第8条 会員はあらかじめこの会に通知した上で、事業年度の終わりにおいて

脱退することが出来る。

2 前項の通知は、事業年度の末日の90日前までにその旨を連絡しなければならない。

(除名)

第9条 この会は次の各号に該当する会員を総会の議決により除名することが出来る。

この場合において、この会の総会の会日の10日前にまでに、その会員に対し

その旨、通知し、かつ、総会において弁明の機会を与えるものとする。

(1) 会費の支払、その他この会の義務を怠った会員

(2) この会の事業を妨げ、又は妨げようとした会員

(3) この会の事業の利用について、不正行為をした会員

(4) 犯罪その他信用を、失う行為をした会員

(役員)

第10条 役員の数数は、次のとおりとする。

(1) 幹事 6人～10人

(2) 監事 2人

(役員任期)

第11条 幹事及び監事の任期は、2年又は任期中の2回目の通常総会の終結時までの

いずれか短い期間とする。

(会長及び事務局長の選任及び職務)

第12条 幹事のうち1人を会長、1人を事務局長とし、幹事会において選任する。

2 会長はこの会を代表し、この会の業務を執行する。

3 事務局長は会長を補佐してこの会の常務を執行し、会長が事故または欠員の時はその職務を代理し又は代行する。

(監事の職務)

第13条 監事はこの会の業務及び会計を監査し、この会の運営が円滑に運営できる様にする。

(役員を選出)

第14条 役員は、総会において選出する。

2 役員選挙は無記名投票によって行う。

3 第2項の規定にかかわらず、役員選挙は出席者全員の同意があるときは、指名推薦の方法により行うことができる。

(アドバイザー及び相談役)

第15条 この会に、アドバイザー及び相談役を置くことができる。

2 アドバイザーは学識経験のあるものから、相談役は協議会に功労のあるうちから幹事会の決議を経て会長が委嘱する。

(総会の招集)

第16条 総会は通常総会及び臨時総会とする。

2 通常総会は毎事業年度終了後2月以内に、臨時総会は必要あるときは幹事会の議決を経て会長が招集する。

第17条 総会の招集は会日の10日前までに到達するように、会議の目的、その内容及び日時及び場所を書面又は電子メールを会員に発してするものとする。

第18条 総会の議事は会員の半数以上が出席し、その議決権の過半数で決するものとする。

第19条 総会の議長は会長が務める。会長が事故又は欠員の時は事務局長が代行する。

第20条 総会の議事録は事務局長が作成する。

(幹事会の招集)

第21条 幹事会は会長が招集する。会長が事故又は欠員の時は事務局長が招集する。

第22条 幹事会の招集は会日の7日前までに日時及び場所を通知するものとする。

第23条 幹事会の議事は幹事の過半数が出席し、その過半数で決する。

2 緊急の場合はメール連絡にて議事を図り幹事の過半数で決する。

(事業年度)

第24条 本会の事業年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

平成 28年 5月 26日 改定

●お知らせ CRN(中部異業種間リサイクルネットワーク協議会)

Web ページ

<http://www.crn2011.jp/>

メールアドレス

notice@crn-1998.info